



菅総理「日米合意尊重」 普天間基地移転

普天間基地移転で大きな期待を抱かせた鳩山首相が辞任し、沖縄では知事選も控えて与党民主党の混迷が続く中、6月23日の沖縄慰霊の日、戦没者追悼式が行われました。

糸満市の摩文仁の平和祈念公園で開かれた式典には菅総理も出席しました。就任早々鳩山前首相のアメリカとの合意を尊重すると

述べ、普天間基地の辺野古移転を進める意向を表明している総理は沖縄の過重な負担に「おわび」「感謝」を表明しながら「沖縄の負担がアジア太平洋地域の平和と安定に繋がってきた」と抑止力を強調し、県民から厳しい批判を浴びています。

その式典の中で渦中の普天間の高校生が県民の思いをこめた自作の詩を披露しました。テレビでも一部報道されたその詩をここに掲載します。

変えていく

名嘉司央里

(普天間高校三年)

今日もまたはじまる

いつもの日常

当たり前前に食事をして

当たり前前に好きなことを学んで

当たり前前に安心して眠りにつく

そんな普通の日

今日もまたはじまる

いつもの日常

当たり前前に基地があつて

当たり前前にヘリが飛んでいて

当たり前前に爆弾実験が行われている

そんな普通の日

一見「平和」に思えるこの小さな島

そこにいつの間にか当たり前前ではない

当たり前前であつてはならないものが

入り込んでしまつていった

普通なら受け入れられない現実を

当たり前前に受け入れてしまつていった

これで本当にいいのだろうか

平凡な幸せを感じながら

ただただ「平和」を望む今

簡単にこの違和感を

無視していいのだろうか

黒いたくさんの礎

刻まれるたくさんの名前

そこで思い知る

戦争が残した傷跡の大きさ深さ

何も幸せなど生まれなかった

何も手に入れたものなど無かつた

すべて失つたものばかりだつた



忘れてはならない

この島であつた悲しい記憶

目を背けてはならない

悲しい負の遺産

それを負から正に変えてゆく

それがこの遺産を背負い生きてゆく

私たちにできること

変えてゆくのは難しい

しかし一人一人が心から

負である「戦争」を忌み嫌う

正である「平和」を深く愛する

そんな世界になれば

きつと正の連鎖がはじまるはずだ

六月二十三日 慰霊の日

あの黒いたくさんの礎には

たくさんの人々が訪れる

そして その一つ一つの名前に触れ

涙を浮かべながら語りかける

「今年も会いに来たよ」と

手を合わせ目を瞑り祈りを捧げる

その訪れた人々に

「平和」を願わないものはいない

「一度あつた事は二度ある」

そんな言葉を聞いたことがある

しかし こんな悲惨な出来事は

もう繰り返してはならない

だから……

「一度あつた事は二度とない」に

変えてゆこう

平和で塗りつぶしていこう

その想いはきつと届いているはずだから

井上ひさしさんの志を受け継いで 九条の会講演会盛大に

「井上ひさしさんの志を受けついで 6月19日九条の会講演会が開かれ、全国各地からの参加者で会場は埋め尽くされました。

講演会ではよびかけ人の大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝の各氏が講演、つごうで参加できなかった梅原猛さんと体調を崩して参加をとりやめた鶴見俊輔さんからはメッセージがよせられ紹介されました。講演会にさきだつてひらかれたよびかけ人会議には三木睦子さんも討論に参加されました。

また、井上ひさしさんのおつれあいの井上ユリさんも参加、参加者にあいさつをされ、井上ひさしさんが、「言葉を道具に働いている作家として、どうしたら平和や九条を多くの人たちに伝えられるか、九条の講演会でも、あるいは芝居や小説を書くときも一生懸命苦心」してきたことを紹介。

つづいて、「井上ひさしさんの思いがすべて表現されている」(ユリさん)という『吉利吉利人』の一節が朗読されました。(九条の会ニュースより)

九条の会・流山の世話人からは4名が参加。

会の詳細は九条の会のホームページでごらんになれます。また会員の鈴木光治さんからお寄せ頂いたレポートを別紙でご紹介します。

<お知らせ>

「平和を願う市民の集い2010」

～ 地域から平和を創る ～

日時 7月24日(土)13:30～16:40

会場 千葉県教育会館大ホール 会費 500円

主催 「平和を願う市民の集い2010」実行委員会
第1部

コント・パントマイム 松元ヒロ 公演

第2部

シンポジウム

基調講演

平和市長会議議長

秋葉忠利広島市長

(仮題)「平和市長

会議が目指すもの」



パネルディスカッション「地域から平和を創る」
(パネリスト)

石井俊雄長生村村長

「平和憲法にこだわり、国民保護条例制定を慎重に」

熊谷俊人千葉市長

「海外との交流を進め若い人に広い視野を」
横山久雅子白井市長

「平和の大切さを知る事業を市民とともに」
蕨和雄佐倉市長

「核なき世界を目指して日々奮闘中」
秋葉忠利広島市長 (特別参加)

コーディネーター 舘 正彦(編集者)

みんなであたおう

<参考> 千葉県内平和市長会加盟者

千葉市、我孫子市、いすみ市、市川市、市原市、
浦安市、柏市、鎌ケ谷市、佐倉市、白井市、山
武市、匝瑳市、袖ケ浦市、銚子市、富里市、流山
市、習志野市、成田市、野田市、松戸市、八街市、
八千代市、四街道市、御宿町、一宮町、大網白里
町、酒々井町、東庄市、横芝光町、長生村、

学習会のお知らせ

7月19日(月)14:00～17:00

十太夫福祉会館会議室

「あらためて沖縄を考える」

沖縄戦の事実を残そうと沖縄読谷村が村として住民の証言を集めた。その中で語られる生々しい日本軍による住民虐殺。渡野喜屋事件です。

またもや基地の押し付けが繰り返されようとするいま、あらためて沖縄を考える機会にしたいと思います。NHKスペシャルのビデオをもとに話し合います。

定例駅頭宣伝

7月は9日(金) 15:30～16:30

流山おおたかの森駅

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130 - 5 - 464735 口座名 九条の会流山